

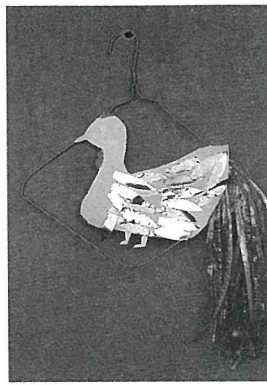


『バスケットボール
をしている人』



4年1組
越川 親くん

※顔が楽に描け
たし、三角刃
で人の線もう
まく描けまし
た。難しかつ
たのは、周り
の削りです。



『つるすかざり』



1年1組
椎名 哲也くん

※尾に使うスラ
ンテープを用意
したり、羽を一
枚一枚切ったり
するのが大変で
した。

あつまれ みんなの 力作



5年1組
越川 木綿子さん

※火の色の变化
煙の色、字の
大きさ、太さ
を工夫しまし
た。

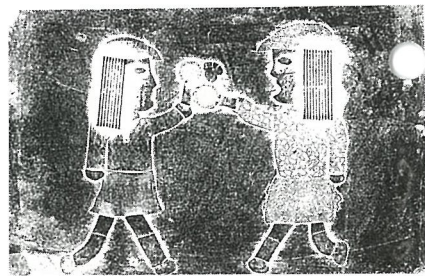


『防火ポスター』

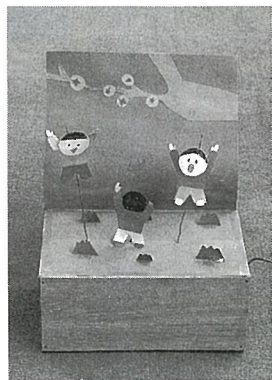


3年2組
越川 麻衣子さん

※あみ目もよう
の紙、タンポ
ールというい
ろな紙を使い
分けしました。



『二人で遊んだこと』



『柿をとっている子供』



6年2組
斉藤 美奈さん

※柿を取る子供
たちの表情に
苦労しました。
ジャンプして
欲しそうな様
子に気を使
いました。

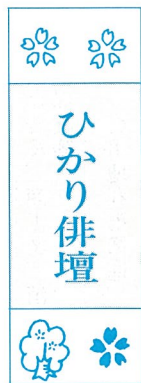


『友だち』



2年1組
中島 由美さん

※かみの毛を結
んでいる友達
の絵です。指
の感じを出す
のに工夫しま
した。



伊藤 幸枝 (尾垂六区)

八重椿落ちたるほかに塵もなし
静寂かつ清浄な朝の佇いを下五の
措辞が適確に捉えていて清々しい
印象を与える。

鈴木 都根 (橋場)

歳時記に二代の手擦れ木の芽ふく
作者の父上は、光町草分の俳人椎
名栗川氏。父の遺愛の歳時記に万
感胸を去来。

鈴木とし子 (宝米)

日脚のぶ地藏の顔のふくよかに
日照時間が長くなった。春の訪れ
に弾む心の躍動が下五の措辞とな
った。

大木静波子 (篠本二区)

寒卵かけて一椀噺りけり
寒中の卵(寒卵)は特に滋養分が
多いという。中七から下五まで一
気に読み下す。

寸感

や、かな、けりを安易に使って
ないか。老、病、死の文字に凭れ
かり過ぎてないか。作品を推敲
するに当って、自分に妥協してな
いかを自戒をこめて一言。

短評 椎名しげる